

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

長野県知事 様

提出者

住 所 長野県飯山市大字飯山226番地1

氏 名 飯山赤十字病院
院長 小山 茂

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0269-62-4195

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	飯山赤十字病院
事業場の所在地	長野県飯山市大字飯山226番地1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	83 医療業
②事業の規模	許可病床数284床 医業収益3,866,573,028円
③従業員数	386人(令和7年4月1日現在)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	感染性廃棄物→収集運搬業者へ運搬委託→最終処分委託業者による焼却処理→埋立 引火性廃油→収集運搬業者へ委託処理→焼却処理

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

「別紙のとおり」

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状		特別管理産業廃棄物の種類	7300感染性廃棄物	7000引火性廃油
		排出量	64.76 t	0.216 t
		(これまでに実施した取組)		
②計画		・新型コロナウイルス感染症の5類感染症以降も引き続き患者の受け入れを行い、入院患者延数は前年度比4%増加したことに伴い、感染性廃棄物排出量も前年度比3%増加した。 ・分別の合理化を進め、排出量の抑制を図った。		
		【目標】 「別紙のとおり」		
		特別管理産業廃棄物の種類	7300感染性廃棄物	7000引火性廃油
②計画		排出量	60 t	0.2 t
		(今後実施する予定の取組)		
		・現状取り組んでいる対策を徹底し、排出を抑制する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物を種類・形状等で分別し、焼却処理の効率化を図った。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 必要に応じ、さらに分別を徹底する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】 「別紙のとおり」	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)	 実施していない。	
		【目標】 「別紙のとおり」	
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)	 実施する予定はない。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】 「別紙のとおり」	
①現状	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)	
		 実施していない。	
		【目標】 「別紙のとおり」	
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)	
		 実施する予定はない。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】 「別紙のとおり」	
①現状		特別管理産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量		t	t
(これまでに実施した取組)			
実施していない。			
②計画		【目標】 「別紙のとおり」	
特別管理産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量		t	t
(今後実施する予定の取組)			
実施する予定はない。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】 「別紙のとおり」	
①現状		特別管理産業廃棄物の種類	7300感染性廃棄物 7000引火性廃油
全処理委託量		64.76 t	0.216 t
優良認定処理業者への 処理委託量		64.76 t	0.216 t
再生利用業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
(これまでに実施した取組)			
・特別管理産業廃棄物処理の委託に際しては、優良認定処理業者を選定し、書面による契約を締結している。 ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）により最終処分の確認を徹底している。 ・委託先処理業者には年1回現地確認している。			

		【目標】		
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	7300感染性廃棄物	7000引火性廃油	
	全処理委託量	60 t	0.2 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	60 t	0.2 t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
(今後実施する予定の取組)				
<p>・令和2年度以降はコロナ禍の影響を受け、排出量が増加してきたが、令和5年度は減少に転じた。しかしながら、入院患者延数の増加に伴い、再び増加に転じた。現在取り組んでいる対策を引き続き実施し、徐々にコロナ禍前の排出量に近づける。</p> <p>・電子マニフェストを導入済みであるが、未運用であるため早期に運用を開始する。</p>				
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】 「別紙のとおり」			
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ホリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	64.976	t	
(今後実施する予定の取組等)				
<p>・電子マニフェスト加入の有無 有</p> <p>・令和7年度中の運用開始を目標とする。</p>				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

令和7 年度特別管理産業廃棄物処理計画書（特別管理産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位：t

実績:前年度特別管理産業廃棄物排出量

計画:当年度特別管理産業廃棄物排出量の目標値

特別産業廃棄物の種類	総排出量	自ら再生利用を行った（行う）量	自ら行う中間処理		自ら埋立処分を行った（行う）量	全処理委託量	処理の委託						
			自ら熱回収を行った（行う）量	自ら中間処理により減量した（する）量			優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
			中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量	自ら直接埋立処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立処分する量（自ら中間処理を行ったことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入する量も含める）			自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量	中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）	認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）	認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量			
①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	実績	計画		
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	実績	計画	実績	計画
廃油	0.22	0.20					0.22	0.20	0.22	0.20			
廃酸													
廃アルカリ													
感染性廃棄物	64.76	60.00					64.76	60.00	64.76	60.00			
廃PCB等													
PCB汚染物													
PCB処理物													
特定有害産業廃棄物													
廃石綿等													
汚泥													
鉛さい													
廃油													
廃酸													
廃アルカリ													
燃えがら													
ばいじん													
合 計	64.98	60.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	64.98	60.20	64.98	60.20	0.00

※ 総排出量=自ら再生利用を行った（行う）量+自ら中間処理により減量した（する）量+自ら埋立処分を行った（行う）量+全処理委託量

【記載方法】

- 各特別管理産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の特別管理産業廃棄物の量を記載してください。
- 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄のそれぞれの内訳を記載してください。
- 「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら埋立処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分した（する）量と自ら中間処理した後自ら埋立処分した（する）量を記載してください。（自ら中間処理したことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入する量も含める）

(第2面) 管理体制図

